

## 平成30年度学校自己評価アンケートからの改善案について

・分掌（ 教務 ）

### ① 課題や問題点

- 1・2-1-2-2 各教科等の年間授業時数は確保されている。
- 2・3-2-1 少人数授業の成果がみられている。
- 3・2-10-3 オリリンピック・パラリンピック教育に計画的に取り組んでいる。
- 4・3-4-1 校内研究・校内研修が充実し、日々の実践に役立っている。
- 5・3-8-1 指導要録等の記入・点検・保管は適切に行われている。

### ② 改善案

- 1 年間授業時数確保のため、\*来年度は、今年度より授業日数は2日減
  - ①終業式の日は、午前中は授業、給食後の5校時は式、6校時は学活とする。
  - ②3年の修学旅行（土曜日）の振替休業日は、なし。
  - ③開校記念日（10/11）は、授業日にする。
- 2 少人数授業の成果については、検証されていないので何とも言えない。ただ、東京都は成果が上がっていることを前提にして少人数授業を推進している。
- 3 オリ・パラ教育については、来年度6月にオリ・パラデーを設けるように、指導されている。来年度は教科、領域など横断的な教育計画（カリマネ）が要求されているので教科の授業、総合的な学習の時間、道徳、特別活動、教科「日本語」の全体計画を立てる。「ゲストティーチャー」を招くことも計画している。
- 4 校内研究・校内研修を推進するためには、先ずは時間の確保が必要と考える。校内研修日を年間行事予定に入れる。また、職員会議の時間にも短時間実施することも考えたい。
- 5 新校務システムの導入に伴い、記入の締め切りは厳守。点検は「学年会」で行う。保管は「教務」で行う。

- ・分掌（ 学習進路 ）

## ① 課題や問題点

- ・学習指導
  - 2-3-2-1 少人数の成果について
  - 2-3-2-4 世田谷9年教育
  - 2-3-4-1 ICTの積極利用
  - 2-3-4-2 図書室の有効活用
  - 2-3-5-1 日本語のねらい
  - 2-3-5-2 日本語の充実
- ・道徳全般
- ・特別活動 生徒保護者アンケートによると、部活動に対する評価が低い。
- ・総合学習
- ・キャリア教育 生徒保護者アンケートによると、意識が低い。

## ② 改善案

- ・成果についてはコメントできないが、教科の担当者間で調整するのが大変そうだ。板書は、そろえたほうが良いと思う。
- ・世田谷9年教育については、各自で、その方針や意義を認識していないと思うので、冊子を熟読する必要がある。
- ・ICTの機器について、何がどこにあり、どのような使い方ができるのかが、周知されていない部分もある。また、有効な活用方法についてヒントがほしい。
- ・現実問題として、クラス単位で使おうとすると、同じ資料に生徒が一斉に集中することになるので、難しい。使い方の例があるとよい。また年間計画に位置付けるとよいのでは。
- ・日本語のねらいについては、教員自身が漠然としているので生徒・保護者も漠然としているのは当然である。ねらいと効果について前向きに検討すべきである。
- ・来年度より時間数が減るので、限られた時間の中でしっかりとした理解が得られるような授業を展開できるようにする。
- ・道徳授業の取り組みは年々改善され、内容はよくなってきていると思う。来年度からの教科化に備え、環境を整備して疑問点を解消しておく必要がある。
- ・部活動の在り方について、評価が低いのは、保護者によって、部活動に対するイメージが様々で、部活動の位置づけを理解していないせいではないだろうか。しっかりと学校全体で保護者・生徒に詳しい説明をしておく必要がある。
- ・キャリア教育、進路学習に対する意識が全体的に低い。1年生は総合学習の時間が2学期末からなので、それまで進路学習をおこなう時間が取れないので結果は当然である。ただ、1学期から計画的に行うことが必要と思われるので、必ず1学期から進路学習の時間を確保したい。また、1，2年の昇降口の近くに進路コーナーを設置して、刺激する態勢を作りたい。保護者への広報活動も必要と思われる。

- ・分掌（生活指導部）

## ① 課題や問題点

### 2-4 生活指導

・どの数字も 80%を越えていたので次年度も生活指導報告会等を活用し学年を越えて共通理解を図っていく。

### 2-9 健康・体力・食育

・良好。

### 2-13 部活動

・長期休業中の部活動一覧表を作成してほしい。日直がわかりづらいため。

・子どもたちが入りたい部活動がある、部活動を活発にしようとしているの【保護者アンケート】の結果、否定的な保護者の割合が 30%近くいた。

### 3-5 保健管理

・良好

### 3-6 安全管理

・次年度は 9/1 の地域班別集団下校をなくす。

## ② 改善案

### 2-4 生活指導

・衣替えについて・・・次年度は「衣替え」の期間を廃止する。儀式の際はネクタイ・リボンをつけた標準服を着用する。

・ポロシャツの着用にあわせポロシャツ期間を設ける。5/1～9/30 に設定する。

### 2-13

・次年度より、部活動担当が作成します。

・現在の教員数では部活動を増やすことはできない。現に、部活動を掛け持ちしている教員もいるため。その状況をご理解いただくためにも保護者会等で伝えていく。

### 3-6 安全管理

・9/1 に避難訓練は実施するが、地域班別集団下校をなくす。地域の方には学校運営委員会で確認する。避難訓練の内容は現在検討中。

- ・分掌（事務）

### ・施設・設備

○美化意識を高めるための点検簿について

美化委員では、生徒（教室内）、清掃分担での点検について、月 1 回点検等行っているが、今後も道具の返却の徹底など、生徒指導を行っていく。

美化デーや点検簿については、今後、要検討。

施設点検については、緊急を要する件もあるので、その都度何かあれば、管理職へ報告となっている。

○雑巾干しについて

雑巾の干し方については、いろいろご意見があるので、今後も要検討。

- ・分掌（文化的行事委員会）

## ① 課題や問題点

### 2－8 学校行事

- ・2－8－1，2－8－2ともに高い評価を得られている。

## ② 改善案

- ・当日の保護者アンケートの結果も、学校評価アンケートの結果も、評価は高い。
- ・児童アンケートの『行事では、みんなが活躍するチャンスがある。』という項目の肯定的回答が約65％と他の項目と比べて低い。上手い人だけではなく、参加していることに充実感を持たせるような指導が必要であると考えます。

- ・分掌（体育的行事委員会）

## 1. 事前準備について

### ① 実施時期・練習日程について

良好 16 改善を要する 1 無回答 2

- ・4月など早い時期に実施案をだしていただければと思います。先に練習日程案が出たので驚きました。
- ・熱中症予防の観点から蒸し暑くなる前の5月開催がのぞましい。他の行事（修学旅行、中間考査）とのかねあいもあると思うが。
- ・時間的にはこれ以上確保できないと思うので現在のままでいいと思います。

### ② 種目について

良好 12 改善を要する 5 無回答 1

- ・長距離に出場した選手がそのまま色別にも出ていました。重複を禁止にするか、プログラムの検討をした方が良くと思います。
- ・3年学年種目の競技時間が短かったので、もう少し長く、見応えのあるものの方が良いと思いました。
- ・学年種目について保護者から複数「盛り上がりに欠けた」という意見あり。（ムカデ、大縄）ムカデについては練習不足が目立ったので計画的に行う必要がある。
- ・学年種目は2種目あっても良いかと。練習時間との兼ね合いもありますが。
- ・生徒会種目はアナウンスも含めて見ている人には分かりづらかったです。やっている当人たちのみ楽しんでいるようでした。また、3年は何、2年は何、1年は何と種目を固定して伝統としていくと良いと思います。更に大縄は3分間の制限時間内に連続回数のみで競う方が良くと思います。
- ・PTA競技がないならプログラムに載せない方が良かったのでは？と思いました。
- ・午前の部が15分～20分くらい進行が早かったので、ここにPTA競技を入れてもいいのかと思います。

### ③ 看板作成について

良好 16 無回答 2

- ・生徒会役員と美術部のみで作っていて大変そうでした。お疲れ様でした。団ごとの色別シンボル（団旗またはパネル）を作るといっても縦割りの絆を深めるのに効果的です。ただし、時間がかかるので、お勧めはしません。

#### ④ 係り会について

良好 1 5 改善を要する 2 無回答 1

- ・ 1 回目は委員会活動日と別日程で設定し、2 回目はなくす。
- ・ 第 1 回のみで良いと思います。係会の前に演技図ができあがっているとありがたいです。
- ・ 放送はアナウンスの仕方などもっと緻密な練習が必要と思いました。今年はかなり言い間違いがありすみませんでした。
- ・ 予行の後は係会に必要な係だけで良かった。

#### ⑤ 予行について

良好 1 5 改善を要する 1 無回答 2

- ・ 4 種目走やローハイドは練習する機会が少ないので全員実施したい。
- ・ ああいう状況の中でよくやれたと思います。

#### ⑥ その他

- ・ 生徒の服装の指導で徹底していなかった。（ジャージ着用する、しないなど）
  - ・ 美術部のシンボルマークがほぼ 3 年 2 人の作成だったので来年が心配です。
  - ・ 色別なのに 1 年 2 年 3 年の連帯が作られないのがやや寂しく残念でした。とは言うものの、応援団活動や合戦活動の大変さも知っているのも悩ましいです。
  - ・ 会場図の詳細なものがあると良いです。助かります。
  - ・ 保護者席に果たして椅子は必要でしょうか。椅子は敬老席と来賓席と本部席だけで充分かと思います。前日並べっぱなしになるので雨でも降ったら当日の朝また大変になります。また、保護者席の椅子の片付けは殆ど卒業生数名でやってくださる形となりました。放課後練習をしない体育祭は初めてです。種目が少ないのでしょうか。
  - ・ 学級対抗リレーの補欠は、他の種目で重複できるようにして欲しい。
- たまたま怪我などが続き、人手が足りませんでした。
- ・ 短距離走は短すぎると思う。1 年 8 0、2・3 年 1 0 0 M くらいがいいのでは？ 6 レーンで、各クラス 2 名の 6 人で走ると時間も短縮され、見応えもあると思う。
  - ・ 生徒会種目の借り物がわかりづらかった気がします。
  - ・ 準備片付けについてですが、椅子並べを 1 年生、テント設営を 2 年生がおこなった方が良いのではないかと思います。

### 2. 体育祭当日について

- ・ 入退場の笛の合図は実行委員の生徒の方が良いかと思いました。
- ・ 吹奏楽部との距離が行進が遠く、生徒たちが合わせにくそうだったので位置を変える必要がありそうです。
- ・ 会場の配置であるが、朝礼台に向かって本部は右がいいのか左がいいのか再考をお願いしたいと思ったが、レピータ盤に近いところでないとは放送はやりにくいので、今年のように朝礼台に向かって右側が本部が良いと思います。
- ・ ロープの内側に入り込む卒業生がいた。

### 3. 各係りから

- ・ 決勝審と監察係のテイクオーバーゾーンの係が重なってしまい調整が必要。
- ・ 招集：特に問題ありません。予行の段階で入場方法が把握できているとありがたいです。（もしくは生徒が理解している）
- ・ 放送についてであるが外のレピータ盤内に有線マイクを差し込まないと無線マイクが使えないこと。無線マイクの音量が調節できないこと（フェーダーが手元にないこと。故にいちいち ON/OFF スイッチを押すことになり電池の消費が激しくなること。無線マイクは学校設備のスピーカーから音が出るのに CD の音はミニスピーカーを設置

しないと音が出ないことなど。校庭と校舎が離れすぎているため大変不便なことが分かりました。またミニスピーカーとTOWA機材しかつながないのでCDも1枚ずつしか使えません。（これは放送室も同じです。）

- ・ローハイドの椅子は木工室のものをお借りしたので、お返ししました。
- ・風で得点の紙がとばされてしまった。風が強い日はマスキングテープなどでとめればよかったと反省です。
- ・放送の準備、迷惑をかけてしまいました。ご協力ありがとうございました。
- ・救護席のテントに保護者や小学生が入ってきました。（写真やビデオ撮影のためのようでした。）防球ネットや保護者席の配置の工夫が必要だと感じました。
- ・放送設備を体育祭本番に間に合うよう直していただき感謝しています。

#### 4. 係りで使用した物品について、保管した場所について

- ・用具係 体育祭での用具は、体育倉庫。ゼッケン、たすきは洗濯して体育科に渡しました。
  - ・決勝・審判係 体育館準備室に入れました。
  - ・紅白旗、トランシーバー、拡声器を使用しましたが全て係では保管してません。
  - ・トランシーバー×6、スピーカー（腰ベルト）→事務倉庫
  - ・ミニスピーカー2台とCD用TOWA機材は格技室倉庫に入っています。
- レピーター盤に差し込む有線マイク及び実際に使う充電型無線マイクは放送室にあります。マイクスタンドは放送室にも体育館の放送室にもあります。どちらかの1本で充分です。

道路に面したレピーター盤のみ使うことになりますが、ON/OFFのポッチは常にOFFで構いません。

走り高跳びのバーを杭で固定し、ドラムのコードをそれに這わせる形で高さを高くし金鋼の上を通す形でレピーター盤のコンセントにつなげました。大変高い所での作業を脚立を全開にし副校長先生が昇ってくださりくくりつけてくださいました。

有線マイクコードをレピーター盤に差し込んでから放送室の電源を入れて各ボタン押していかないとキーンとレピーター盤から音が鳴ります。段取りが厄介であります。

- ・得点掲示板、物品は全てF棟1階南倉庫です。入退場看板、物品は全て1階北倉庫です。
- ・ムカデロープ、杭、木づち全て南倉庫
- ・出発、合図 スターターは体育教官室
- ・放送で使用したCDデッキ、大型スピーカーは格技室の倉庫に保管してあります。
- ・シンボルマークは体育館の横のF棟の倉庫に保管してあります。

#### 5. 体育祭全般について

- ・体育祭練習日の生徒の服装は1日ジャージでも良いと思う。着替えをする生徒、しない生徒、それを指導する先生、しない先生とバラバラです。
- ・教科の時間を相談なく練習の時間に変更することはいけないと思います。
- ・タイガロープの購入とハンマーがもう一つ必要かと思う。
- ・佐藤先生不在の中、色々大変でしたが、各先生のおかげで終えることができました。ありがとうございました。お疲れ様でした。
- ・先生方ありがとうございました。当日は怪我人も少なく、スムーズに進行し、素晴らしい体育祭だったと思います。お疲れ様でした。
- ・体育祭の計画も3年の種目ももう少し早めに教員間で共有したかったです。案の提出は早めをお願いします。

- ・各教員がそれぞれ体育祭に向けて仕事をしていて本当に良いなと思いました。
- ・とらロープが欲しいです。（客席／生徒席とトラックを分けるためのロープ）
- ・練習時間を学年等でもう少し取ってもらえたら嬉しいです。
- ・予行から休みまして大変ご迷惑をおかけしました。
- ・会場図が必要。保護者席の位置、本部＋係テントへの観客流入防止対策

- ・分掌（特別支援教育）

## Ⅰ 課題や問題点

### 2-12 特別支援教育

→ おおむね良好

引き続き特別支援教育の充実を目指し、以下の点についてご協力をお願いいたします。

- 1 来年度も委員会を時間割に組み込み、定期的に情報交換を行い、支援方法について検討し対応する。
- 2 「フォローアップ授業」の時数を増やし、学習面に課題のある生徒のサポートをする。
- 3 教育相談室（スクールカウンセラー）や外部機関との連携を密に行う。

## Ⅱ 改善案

学校生活支援シート（個別の教育支援計画）の記入をお願いします。

- ・分掌（ 第1学年 ）

## Ⅰ 課題や問題点 生徒・保護者・地域アンケートより

- ① （生徒）進路について考える授業、進路について相談する機会、進路情報、に関して否定的な意見が多い。
- ② （生徒）部活の回数、時間に関して否定的な意見がやや多い。
- ③ （生徒）先生は誰に対しても公平である、に対してやや否定的な意見がある。
- ④ （生徒）学び舎との交流を活発とは思っていない。
- ⑤ （生徒）自分にはいいところがあると思っていない生徒がいる。
- ⑥ （保護者）通知表の評価を納得できない人もいる。
- ⑦ （保護者）部活動を活発に行っていないと見る人もいる。
- ⑧ （保護者）将来への生き方指導をやっているかわからない人が多い
- ⑨ （地域）地域への情報提供を十分とは感じていない。

## ㉒ 改善案

- ① …1年は、総合の時間が11月までないので、進路学習を行うことが出来ない。当然のアンケート結果と思われる。ただ、意識付けとして、1，2年昇降口右の壁面と棚を使って進路関係の資料を閲覧できる環境をつくりたい。
  - ② …具体的にどのようにしてほしいのかわからない。教科と同じく、年度末に保護者アンケートを行うといいのでは。
  - ③ …学年による指導の違いをなくす。個の違いに対する教師の対応が、ややもすると不公平と見られるのかもしれない。全体説明をする必要がある。個別に不満を聞ける態勢を作る。
  - ④ …授業時間確保を考えると、これ以上の交流は難しい。
  - ⑤ …何気ない機会に称賛の言葉をかけていきたい。「いいところ見つけ」のような意図的な活動もよい。
  - ⑥ …面談のある2学期は、くわしく説明できるが、アンケートのタイミングはその前なので、疑問が多いのかもしれない。1学期の段階で、保護者が自分の子供の学習について、確認できるような情報を出す必要がある。(学年便り、進路便りなど)
  - ⑦ …これも保護者へのアンケートで具体的な意見を集めたい。
  - ⑧ …1，2年生とも、キャリア教育は3学期に集中しているので、わからないという意見はもっともである。1，2学期の内に1回くらいずつは、キャリア教育を行いたい。
  - ⑨ …正門付近に、深沢中掲示板を設置して、道行く人たちが深沢中の様子を無理なくわかるようにするといいいのではないか。
- ◎生活指導関係、授業関係、行事、先生の生徒対応、学校の楽しさ、などは、いずれも高い肯定感を持っていることが確認できた。  
この方面の高い肯定感は維持しつつ、不十分と思われる部分の改善を図っていきたい。

## ・分掌（ 2 学年 ）

### Ⅰ 課題や問題点

約9割の生徒が、学校生活は楽しいと回答している。また、8割以上の生徒が学校の決まりを守らない時に先生が注意していると回答していることから適切な場面に指導ができており、学年として落ち着いて生活ができていることが分かる。一方、先生は、誰に対しても公平であるという項目は、3割以上の生徒が「そう思わない」と回答しており、教員が公平に接していないと感じている生徒が多くいるという現状が挙げられる。また、授業の開始・終了時間を守っているという項目では約3割の生徒が「そう思わない」と回答している。

### ㉒ 改善案

教員がこの結果を真摯に受け止め、自身の指導を見直す必要がある。具体的には、生徒の呼び方や接し方に気をつけて指導を行う。  
また、授業の始業の時間だけでなく、終業の時間も守り授業を行うことを心がける。



・分掌（ 3 学年 ）

Ⅰ 課題や問題点

生徒アンケートより

①項目 5「わたしは学校のきまりを守って行動している」項目 24「友達と学校で活動するのは楽しい」は肯定的な意見が多かった。規範意識が高めて生活できていることは評価できる。また、いろいろな行事で仕事を担って活動した経験や毎日の班活動での取り組みの成果の一部とも思える。

②項目 18「先生は誰に対しても公平である」は肯定的な意見が低い。

③項目 22「学び舎小学校との交流が活発である」は、最も肯定的な意見が少ない。

④項目 1・2「授業の内容はわかる」「先生は書き方やプリントなどを工夫しわかりやすい指導をしている」の肯定的意見がポイントに比べて、項目 3 の「通知表の評価は、納得できる」は 10 ポイント、マイナスになっている。

保護者アンケートより

①項目 16「本校は、学校全体で部活動を活発にしようと努力している」については肯定的な意見が低い。

②項目 23「学校からの通信に保護者の知りたい情報が盛り込まれている」につて肯定的な意見が高い。

Ⅱ 改善案

生徒アンケートより

①規範意識が高めて生活できていることは評価できる。また、いろいろな行事で仕事を担って活動した経験や毎日の班活動での取り組みの成果の一部とも思える。学校を楽しく感じていることにとても安心感がある。

②真摯に受け止めて、意識を高めていかなければならない。

③イバン生徒には、あいさつ運動しか思い浮かばない。特に新しい取り組みをすることがよいとは思わないが、あいさつ運動の並び方など工夫が必要である。

④評価の観点をわかりやすく伝えることなど、これからも続けていく。

保護者アンケートより

①部活動については、活動日、活動時間、指導の体制など、現状を維持していくことを基本に、早期より配布物、保護者会などで理解してもらい取り組みをこれからもしていく。

②ホームページや各学年の学年通信など担当の先生の努力の賜物である。